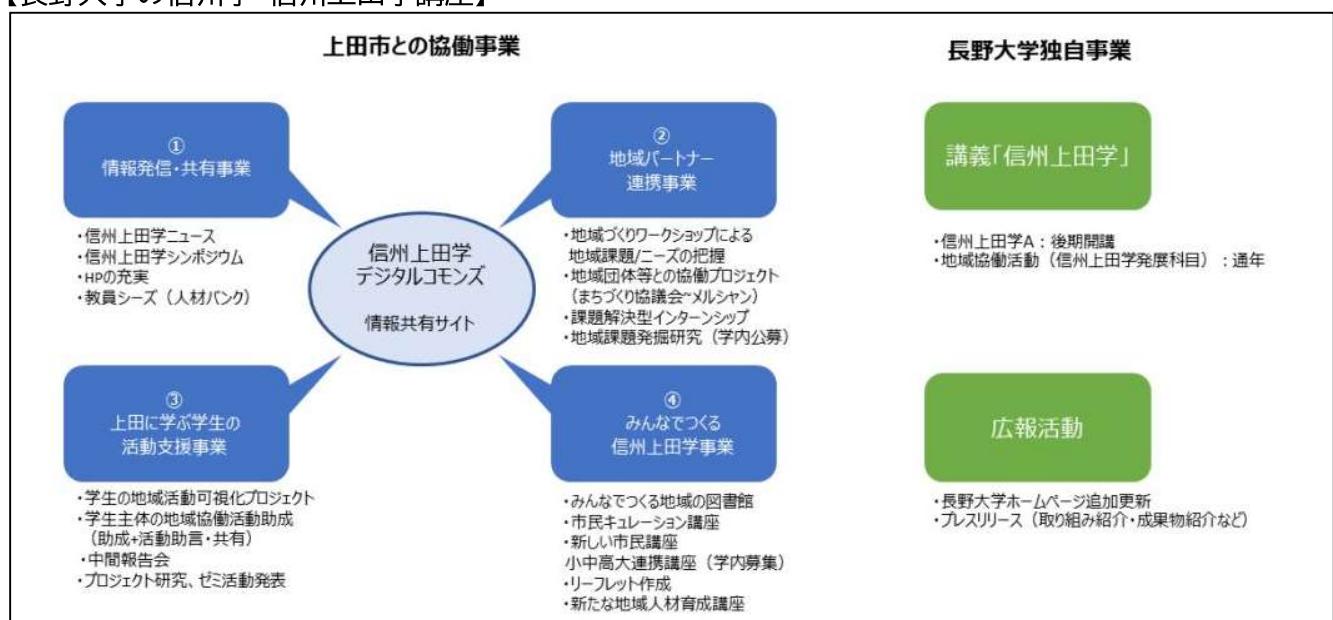


信州上田学(令和6年度実績)

【ライフステージ毎の信州上田学】

区分(対象)	開催日	場所	テーマ(内容)	人数	備考
1 すがだいら保育園	10月18日(水)	コスモスの森	自然保育(野外体験活動)	23名	(添付まとめ資料) No1
2 室賀保育園	11月7日(火)	鉢巻山	自然保育(野外散策)	23名	(添付まとめ資料) No2
3 上田第5中学校	11月10日(金)	体育館	上田市の現状と課題について	3年生 155名	(添付まとめ資料) No3
4 上田高等学校	9月14日(木)	学校教室	ジェンダー、情報について	2年生 80人	(添付まとめ資料) No4

【長野大学の信州学・信州上田学講座】



1. 上田市との協働事業

- (1)情報発信・共有事業……パンフレット作成、信州上田学 PR しおり作成、事業紹介動画の制作
 (2)地域パートナー連携事業

①(特定テーマ型)道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

指導教員…企業情報学部教授 森 俊也

②(テーマ提案型)上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

学生たちの自由なアイデアや発想を協働先とともに地域や企業が抱える課題の解決に寄与するプロジェクトが提案された。

ア若者たちへの伝言(Peace Edu.)

戦時下の聴き取り調査・調査記録集の発行:Peace Edu

イ長野大学の消防団員人口を増やそう!!(消防団員サークル 長野大学分団)

消防団員増加のための啓蒙・情報発信活動

ウ学生と地域のフラットなコミュニティの設立:itoma

③(地域企業課題解決型)上田地域企業魅力発信プロジェクト

ア地元企業の魅力を PR する冊子発行:『てくてくうえだ』編集部

イショート動画で企業の魅力発信(たゆたゆふあくとりー☆)

(3)上田に学ぶ学生の活動支援事業……長大学生サミット

(4)「みんなでつくる信州上田学」事業……学びの成果発表会…令和7年2月8日(土曜日)開催

2. 長野大学独自事業:教養科目「信州上田学」(後期) 学生(1~2年) 名

	講座名	対象	受講者	内 容
1	教養科目「信州上田学」	学生(2~3年)	156名	<ul style="list-style-type: none"> ・信州上田学の学びの手法「上田メソッド」(地域で・地域と協働する学び。地域課題解決の方法論)を身に付けた。 ・3学部の教員がそれぞれの視点から授業を行い、横断的な知識、経験を培った。 ・講義では、「蚕都上田」「福祉の源流」「日本遺産と塩田平」「農民美術」の授業を行い横断的な知識、経験を培った。 <p>※ キュレーション:インターネット上の情報を、特定の視点を持って収集、選別、編集することで新しい価値を持たせ、それを共有すること</p>
2	地域協働活動 :通年 30 コマ (信州上田学発展科目)	2~3年	10名	<p>【地域協働活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩田平・日本遺産活用企画

【上田未来会議・未来学ゼミ(1~7回連続講座)】(添付まとめ資料)

No7~11

	開催日時	場所	主な内容	参加者
1	6月29日(土) 13:30~	サントミニーゼ (小ホール)	(1)演題:「地域の課題を自分ごとで考え、行動するヒント」 (2)講師:STUDIO-L 代表・関西学院大学建築学部教授 山崎亮氏 (3)内容:コミュニティデザイン手法や全国の事例をもとに、地域の課題を自分ごとに考え、行動する意義とヒントを学んだ。	36名
2	7月13日(土) 13:30~	サントミニーゼ (多目的ルーム)	【全体会】「地域の課題を自分ごとで考えてみよう」 ・「未来会議の進め方」・「話し合いルール」・「上田市の現状と課題」ほか 伴走者(グループアドバイザー) (a)中澤純一さん、(b)間島賢一さん	16名
3	8月17日(土) 13:30~	サントミニーゼ (多目的ルーム)	【グループワーク A】★問題発見⇒課題設定 (1)イチ(最初)から地域課題に取り組んでみたい人たちがグループを作った。 【グループワーク B】★課題の共有(2)「若者の居場所の必要性(情報発信)」、(3)「大学生が地域で活躍すること」と設定された課題について話し合った。	22名
4	9月14日(土) 13:30~	上田駅前 パレオ	【A】課題設定(整理) 【B】課題の深掘り	17名
5	10月12日 (土)13:30~	上田駅前 パレオ	グループワーク 「問題点」の整理から「課題」へ落とし込み	19名
6	11月9日(土) 13:30~	上田駅前 パレオ	グループワーク: まとめ:自分たちでできることを中心に解決策を話し合いまとめ	24名
7	12月14日 (土)13:30~	サントミニーゼ (多目的ルーム)	グループ発表、修了証授与 意見交換:振返り・次年度への発展的継承	22名
			延参加者数	157名

※グループワークの進め方:(問題)problem⇒(展望) Vision⇒(目標)Goal⇒(課題)Issue【ここでが特に大切】⇒(計画)Plan⇒(実行)Do⇒(評価)Check⇒(改善)Action。
「2024 上田未来会議」のグループ発表の様子は以下でご覧いただけます

<https://www.youtube.com/watch?v=mVsaYcbmtc0> <外部リンク>
「2024 上田未来会議」最終日のプレゼン内容(了解が取れたもののみ掲載しています)

1「若者の居場所情報発信」[PDF ファイル/2.5MB]

居場所カードの例 [PDF ファイル/1.01MB]

2「大学生が地域で活躍すること」[PDF ファイル/687KB]

3「子どもや大人が共に支えあう地域づくり」[PDF ファイル/3.86MB]

4「情報が上田の文化を支える～わたしたちにできる上田づくり～」[PDF ファイル/4.58MB]

5「安心安全な快適環境のまちづくり」[PDF ファイル/1.15MB]

【つながる力・地域づくり交流会 vol.2 with 上田未来会議=地域づくりの DNA・キラリ人大集合=】

1. 日時 令和7年1月26日(日曜日)14時から

2. 会場 サントミューゼ小ホール

3. 主旨 上田地域で主体的に活躍する方々を「キラリ人」とお呼びし、一堂に会して、活動紹介や地域に対する想いを地域内外に発信していただくとともに、広く交流する場。また、「信州上田学」の一環として、上田地域の「人」の魅力再発見の機会とした。

4. 主催 地域づくりネットワーク長野県協議会上田支部・長野県上田地域振興局、

5. 共催 上田市

6. プrezent者=キラリ人

No1 柳町観光振興会 池松勇樹さん

No2 上田街角写真部 野々村奈緒美さん

No3 真田ゆめぐる project・ミリグラム 間藤まりのさん

No4 信州たけしのロマンと魅力を掘り起こし発展させる会 江口達夫さん

No5 合同会社ナワメ社 上野琉花さん

No6 NPO法人 場作りネット 秋山紅葉さん

No7 うえだ子どもシネマクラブ 直井恵さん

No8 チャイルドラインうえだ 茅野浩恵さん

No9 信州上田おかみの森がっこ 関佳澄さん

No10 めたちゃ。吉池由美さん

No11 信州上田物産館 UEDA Nerima BASE 萩原潤さん・平野亮さん

No12 グローカルリソースセンター 大森美和さん

No13 筒けん 清水悟さん

No14 信州おとのわプロジェクト」高木夏子さん

No15 自由大学運動100年記念フォーラム実行委員会 小平千文さん

7. 参加者 102人(プレゼン者等含む)

8. まとめ 以下からご覧いただけます。

地域づくり交流会 with 上田未来会議(事業報告) [PDF ファイル/2.29MB]

9. 当日プレゼンの様子は以下でご覧いただけます

<https://www.youtube.com/watch?v=65wM89gaY7M> <外部リンク>

【イベント「2025 上田未来会議」】

1. 日時 令和7年3月22日(土曜日)14時から16時30分

2. 会場 上田市市役所5階大会議室

3. 主旨 「2025 上田未来会議」で基調講演をいただく予定の講師から、ファシリテーターの役割についてお話しをお聞きしたあとで、ファシリテートに意識しながら地域課題について自由に話し合い発表した

4. 参加人数 26人

5. 講師 株式会社エンパブリック代表取締役 広石拓司氏

1 事業概要

- (1)日時 令和6年10月16日(水) 午前9時から11時15分まで
- (2)場所 すがだいら保育園、野外炊飯場の森
- (3)参加人数 4,5歳児19名、職員3名、事務局1名
- (4)講師 NPO法人やまぼうし自然学校3名(以下「やまぼうしの指導者」)
- (5)ねらい 森の中で、植物の観察や自然物を拾いそれらを使った遊びを友達と一緒に楽しむ
- (6)日程 9:10 全体会⇒9:20 園出発⇒9:50「野外炊飯場の森」
11:00 森を出発⇒11:30 園着

2 実施内容:

9:10 園庭での説明(注意事項など)

- ・出発前に「やまぼうしの指導者」の自己紹介・ニックネームを教えてくれた



9:50~11:00 到着・活動

- ① 「やまぼうしの指導者」が、ロープを使ったアイスブレイクで身体をほぐした後、「野外炊飯場の森」について説明。
落ちている鹿のふんを見せてくれたり、ぬかるみを見つけて「イノシシが水浴びした場所だよ」と教えてくれた。
森の中での約束として、漆の木に触らない、ピンクの目印より奥にはいかない、道具(のこぎり・スコップ)は大人と一緒に使うなどを確認する。
- ② 森に入ってロープを使った、“平行棒”や“木の枝ブランコ” “ジップロック”を作ってくれ、順番に遊んだ。
子どもたちは、以前の活動で遊んだ経験から、遊び方や体の使い方を知っていて、何度も繰り返し楽しんでいた。
- ③ 道具を使ってのあそび
・のこぎりを使って木の枝を切る子がいた。最初はのこぎりを使いたい気持ちから(保育士が手を添えて)切っていたが、そのうち切った木の断面の模様や色の違いに気づき、切った後の発見も併せて楽しんでいた。
- ④ ロープを輪にしてその中に電車ごっこのように2~3人が列になってあちこち歩くことを楽しんだ。



11:00~11:30

「野外炊飯場の森」から保育園へ：移動中は列になり、安全に配慮しながら帰園



3 総括(全体のまとめ)

「やまぼうし自然学校」の指導者の皆さんには、山や自然に対する知識が豊富で、その場で子どもが見つけた、きのこや木の名前を教えてくれたり、山は楽しいことだけではなく危険もあることも分かり易く教えてくれた。

子どもたち自身が安全に遊ぶことを意識することが楽しい活動になることを感じた。

R6 ライフステージ（室賀保育園）_やまほいく事業【まとめ】

別紙2

1 事業概要

- (1)日時 令和6年10月31日(木) 午前9時から11時まで
(2)場所 室賀保育園、鉢巻山
「鉢巻山」は室賀保育園の散歩コースの先にあり馴染みのある場所
(3)参加人数 園児4・5歳児20名、引率(園長及び保育士)3名
(4)講師 ひるま植生Salon 学芸員 蝶間 啓氏(農学博士)
(5)ねらい 友達と一緒に鉢巻山を散策し、自然物を見つけたりそれらを使って遊んだりすることを楽しむ。
(6)日程 9:00 全体会⇒9:10 園出発⇒9:30 森の道を散策⇒11:00 園着

2 実施内容:【室賀保育園(信州型自然保育認定園)での自然保育(野外散策)】

- 9:00 園庭での説明(注意事項など)
・出発前、園庭にて講師の蝶間さんを紹介



9:10~11:00

- ・園から「鉢巻山の森」を歩いて往復:
途中、蝶間先生から植物、昆虫、キノコなどの解説を聞く。
①「笹」で蝶間先生がアメや笹船の作り方を保育士や子どもたちに教えてくれた。
②「ムキタケ」食用キノコを発見:かさの部分が剥けるのでむきたけと呼ぶ。「スッポンタケ」という珍しいキノコを発見して子どもたちはキノコ探しに夢中になる。
③「ノブドウ」:ウマブドウとも呼ばれており、葉にもなると教えてもらい、驚いていた。
④「クリ」のイガも多数。靴でイガをむいてみる。中には大きな栗の実が残っている物もあり、拾ってくる。
⑤「ハナイカダ」:葉の上に黒い実がなっている。6月頃に花が咲き、実ができる。イカダの上に乗っているようだ。
⑥「トチバニンジン」:葉っぱが、トチの葉に似ていることからその名前がついた。
⑦「リンゴドクガ」を発見。きれいな色の毛並みに子どもたちはビックリ。「初めて見た」と言う子もいた。



3 総括(全体のまとめ)

- ・計画日(29日)の前日、気象予報を確認し実施が危ぶまれたので予備日(31日)に変更した。晴天の中実施できた。
・自然あふれる環境が身近にある園児たちも、普段とは違う目線も加えながらの野外散策となり、自然に触れ、楽しみながら自然観察を体験することができた。
・講師の先生に教わったことを、保育園の先生方も園児たちと一緒に学び、自然の中に生息する植物や野鳥に关心を深める貴重な機会となった。
・地域の身近な自然の中で感じた経験は、きっと記憶の中に残っていくと思われた。

R6 ライフステージ（上田第五中学校）出前講座【まとめ】

別紙3

1 日 時 令和6年11月5日(火)14:50~15:30

2 会 場 上田第五中学校 第一音楽室

3 参加人数 155名…3学年の全生徒

4 実施内容

(1)上田市の現状と課題(課題に対する取組、未来への展望)について

上田第五中学校3年生を対象にした「総合的な学習の時間」の中で、①上田市の課題、②課題に対する取組、③未来への展望、という視点での講演。「上田市総合計画」の内容や、各分野の特徴的な施策などについて生徒たちへの出前講座を実施した。

○上田市総合計画の説明

・「信州上田学」の取組として、地域の歴史や現状を「学び」、地域に対する「誇り」と「愛着」を持ってもらえるよう、出前講座や会議の開催等事業を展開している。

・上田市「上田市総合計画」の後期まちづくり計画

1 上田市総合計画について
まちづくりビジョン(基本構想)の概要

2 上田市の現状と課題について
「SDGs」(エスディージーズ)の考え方
令和4年5月20日「SDGs未来都市」選定

SDGs未来都市～ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市うえだ～
6つの施策と5つの重点プロジェクト

3 市が実践している各分野の取組について 後期まちづくり計画の「概要版」
4 みんなで「上田市の未来」を考えよう！



○上田市の良い所の例

- 1 上田市には上信越高原国立公園(烏帽子岳)と八ヶ岳中信高原国定公園(美ヶ原)がある
- 2 千曲川(信濃川)は日本一長い。全長、約367km
- 3 信濃の国(長野県)最初の国府がおかれた。信濃国分寺建立
- 4 別所温泉は県内最古の温泉。枕草子にも記されている一つ
- 5 塩田平は国宝、重要文化財が多くある古刹群
- 6 徳川の大軍を二度も破った真田氏の発祥の地
- 7 児童自由画教育運動、農民美術、自由大学は上田から



5 総括(全体のまとめ)

- ・今回、第五中学校は校舎建て替え中であるが、3年生全員が入れる第一音楽室で行われた。
- ・出前講座により、上田市の現状と課題について考えることを通じて、生徒たち自身が「学び」を深める機会になったものと思う。
- ・生徒の皆さんができる「上田の良い所」や「課題」について興味を持ったキーワードから調べ学習を進め、課題解決につながるよう深掘りするなど、「上田市の未来」を一緒に考えていってほしい。
- ・自分の住むまちから調べ学習を進めることで、市について考えるきっかけとなり、自分たちが住む地域を、自分たちで創り上げていきたいという思いにつながっていくことを期待している。

R6 ライフステージ（上田高等学校）出前講座【まとめ】

別紙4

上田高等学校「2024 探求の日」(中間まとめ)

令和6年9月12日(水)8:40~12:30

テーマ:農業・資源に関わる諸問題解決に向けて

講師:株地元カンパニー 代表取締役 児玉 光史氏

参加者:2年生・40人



←受験と自分の生き方を結び付けた、生徒の心を深く揺り動かす講演内容であり、また、聞き手の生徒達にも講演中に意見を考えさせる時間を数多く取るなど、講演の内容面でもプレゼンテーションの伝達技法の面でも生徒の参考になる面がとても多かった。生徒の感想の中には「猛烈に学んでスキルを高めて、起業からの経済活性化への貢献を志す」といった高校での学びと自分の将来を関連付けたものもあり、学校の教育活動を側面から大いに支えていただいた。(担当教諭)

問題をただ問題として考えるのではなく、実際にどのくらい困るのか、また優先度を考え解決していくことが大事だとわかった。社会貢献をするためにたくさん稼ぐのが必要だと言うのもとても納得した。(生徒アンケートから)

テーマ:食品・栄養に関わる諸問題解決に向けて

講師:社会福祉法人上田市社会福祉協議会

地域福祉推進課長(兼)生活支援課長 萩原 宏樹氏

参加者:2年生・40人



←食品ロスという現代的な課題に対して、どうしても大きく捉えがちな生徒たちに、身近な視点からのソリューション(フードドライブ)を提示していただいたことは、とても有難かった。フードドライブを入り口として、公的機関および民間団体による様々な取り組みを生徒たちが知ることができ、生徒が今後行うであろう現地調査のヒントにもなった。以上のことから、本校の教育活動としてのねらいに十分以上に貢献していただいた。(担当教諭)

自分たちが研究しているフードバンクにつながる話なのでとても勉強になった。上田市内で実際に行われている事業についての説明が僕たちにとってプラスになったし、改善すべき課題などを把握し、明確に次へと繋げていく堅固な計画性に感銘を受けた。(生徒アンケートから)



2024 上田未来会議・概要【まとめ】

1 事業概要

上田市では、持続可能な地域の創出に向け、地域に脈々と受け継がれてきた歴史、文化、自然、風土等を「学ぶ」ことで、住民が「住み続けたいと感じられる地域づくり」につなげることはもとより、地域を離れて進学した学生が「上田に帰って来たいと感じる人づくり」、さらには、「上田を離れても地域を想い続けてもらう人づくり」を目的とした「信州上田学事業」を開催しています。その一環として、「上田未来会議」を開催実施しました。

2 信州上田学の展望

「地域の特性(風土)と暮らしの関係」・「主体的に地域づくりに関わるための学習」を通じ、持続可能な地域づくりのため、市民一人ひとりが主役(生きいきと暮らす)の社会を目指します。

3 主催・共催・後援

- (1)主催:上田市
- (2)共催:長野大学(地域づくり総合センター)
- (3)後援:上田女子短期大学、信州大学繊維学部、筑波大学山岳科学センター、長野県工科短期大学校 (五十音順)

4 事業の目的

学生(高校生・大学生)と市民が、一緒に「学び」、話し合いを通じ、課題解決能力、疑問提起能力、思考力など「探究する力」を培う場とします。

5 役割等

- (1)基調講演講師…大学教授等
- (2)伴走者(グループアドバイザー)…地域の実践者
- (3)「未来会議」参加者
 - ア 内容:未来会議に参加し、身近な上田市の課題とその解決策等をグループワークで話し合い、研究し、まとめる体験。経過・結果等を最終日に市に報告いただく。
 - イ 参加者等:上田市内にお住まいか、通勤又は通学される高校生・大学生・社会人
 - ウ 参加費等:無料、全国社会福祉協議会「ボランティア活動保険」に加入

6 「未来会議」講座

回	土曜日午後	従来型(問題発見から)	課題設定型(あらかじめ設定された課題)
1	6/29	【全体会】大学教授等から主体的まちづくりについて学ぶ	
2	7/13	【全体会】「地域の課題を自分ごとで考えてみよう」～まちづくりワークシートを使って～	
3	8/17	【グループワーク A(以下【A】) 「① 1(イチ)から取り組む地域課題」 等など	【グループワーク B】(以下【B】) 上記5(2)の②③の中から選んだ課題について内容を共有
4	9/14	【A】課題設定(整理)	【B】課題の深掘り
5	10/12	【A】課題深掘り	【B】課題解決策
6	11/ 9	【A】【B】「自分たちでできること」を中心に解決策を話し合い。	
7	12/14	【全体会】グループ発表、意見交換、修了証、振り返り	

7 会場:サントミューゼ多目的ルーム、上田駅前ビルパレオ、中央公民館ほか

2024 上田未来会議・第1回【基調講演】

日 時: 6月29日(土)13:30~
場 所: サントミューゼ(大スタジオ)

【主催者あいさつ】

【開 講】

第1部: 基調講演

- (1) 演題: 「地域の課題を自分ごとで考え、行動するヒント」
- (2) 講師: STUDIO-L 代表・関西学院大学
建築学部教授 山崎 亮氏
- (3) 内容: STUDIO-L の洪さん、出野さんも加わって、コミュニティデザインなど事例をもとに、地域課題を自分ごとで考え、行動するヒントを事例をもとにお話し頂いた。

山崎亮(やまさき りょう)氏
studio-L 代表。関西学院大学建築学部教授。
コミュニティデザイナー。社会福祉士。
1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院
および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・
ランドスケープ設計事務所を経て、2005
年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む
人たちが解決するためのコミュニティデザイン
に携わる。まちづくりのワークショップ、住民
参加型の総合計画づくり、市民参加型のパーク
マネジメントなどに関するプロジェクトが多い。
著書に『コミュニティデザインの源流(太田出版)』、『縮充する日本(PHP新書)』、『ケアする
まちのデザイン(医学書院)』、『地域ごはん日記
おかわり(建築ジャーナル)』などがある。
YouTube チャンネルはこちら
<https://youtube.com/c/山崎亮>

＜講演の主な内容＞参加者アンケートから

- 少し難しかったけど、パワーポイントなど視覚の情報を通して、様々なヒントを学ぶことが出来た。
- 楽しく過ごせる企画、提案の事例が沢山伺えて参考になりました。同じ志を持つ仲間が居るということはとても心強く羨ましく思います。
- 今までまちづくりは役所の大人達が考えることなんだと思っていましたが、若者の自分や住民も一緒に協力して考えるものなんだと考えを改めることができました。次の話し合いに生かしていくならなと思います。
- ワークショップのやり方、工夫など、いろいろ聞けたので、よかったです。今、少し始めていることもあり(少人数ですが)、楽しくやっているので、それでいいんだという安心感と先への意欲が湧いた。お話しから創意、工夫してやればできることを学べました。
- 住民が主体的に参加して、ワークショップ等で時間をかけて、行政の計画づくりに参画する。
- 楽しさ、美味しさ、わくわくする演出が大事。おしゃれ、かわいい、楽しい ①大人の部活、②発展的解消、2つの大きなキーワードに共感しました。
- とても勉強になりました。コミュニティを前提として地域の方々と話しながら空間をデザインするのは素晴らしいと思います。



【ガイダンス】: 今後の進め方、「信州上田学」について

2024 上田未来会議【第2回～第6回：グループワーク】

第2回
「問題」を持ち寄ります。



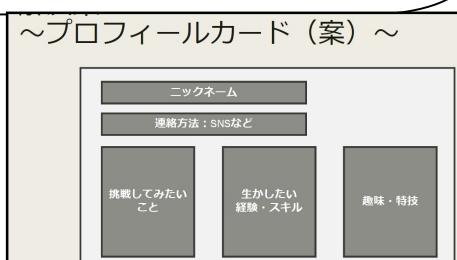
第3回
目標を定め、「課題」に落とし込みます。
グループで取組む「課題」を決めました。



第4回
「課題」の共有化のため、話し合いを中心、「見える化」をするため、付箋紙を使って、ワークシートにまとめました。
第1グループ(G)～第6グループ(G)



第5回
「課題」解決では、誰かに何かをお願いするのではなく、自分たちでできることを主に話合っていきました。
下図：第2G 提案「プロフィールカード」



第6回
発表(プレゼン)を想定し、リハーサルも兼ね、グループで発表(練習)。このあと、3週間のうちに、グループごとにパワーポイントにまとめました
右図：第1G 提案「居場所カード」



2024 上田未来会議・【第7回：発表】

日時：12月14日(土)13:30～

場所：サントミューゼ(多目的ルーム)

1 内容

<第1部>

1 はじめに(今日の進め方)

2 受講生発表方法等

(1)内容：①グループとして、取組みのプロセス説明

②グループとして、以下のワークシートで、課題と解決策、気付き他

③個人として、発見、今後してみたいと思ったこと など

(2)時間：全体 90 分：20 分×4+10(予備)

(3)グループ【分野】テーマタイトル(第1～第6グループ)



信州上田
**若者の居場所の
情報発信**



2024.12.14 上田未来会議 居場所チーム

**大学生が地域で
活躍すること**

第2グループ



第4グループ： 「誰もがいきいき働き産業が育つ まちづくり」

「アグリサポーター」(果樹農家の有料ボランティア)体験から感じている農業経営の課題。特に「後継者不足」に問い合わせを立て、「いきいき働ける職場」「農業の魅力づくり」について、伴走者のアドバイスや単発に参加してくれた人と一緒に、解決策を話し合いました。



子どもや大人が
共に支えあう地域づくり

第5グループ





☆<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/gakuen/1563.html>

3 主催者(市長)あいさつ

4 修了証授与

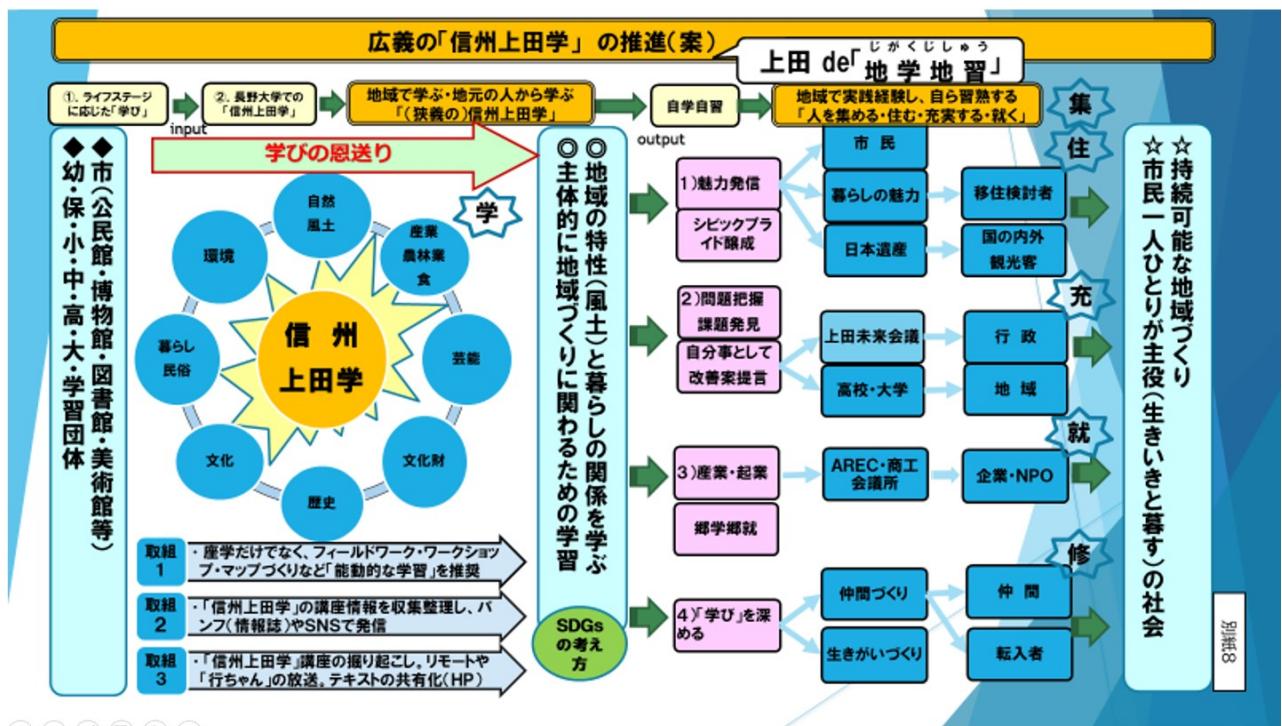
5 記念撮影



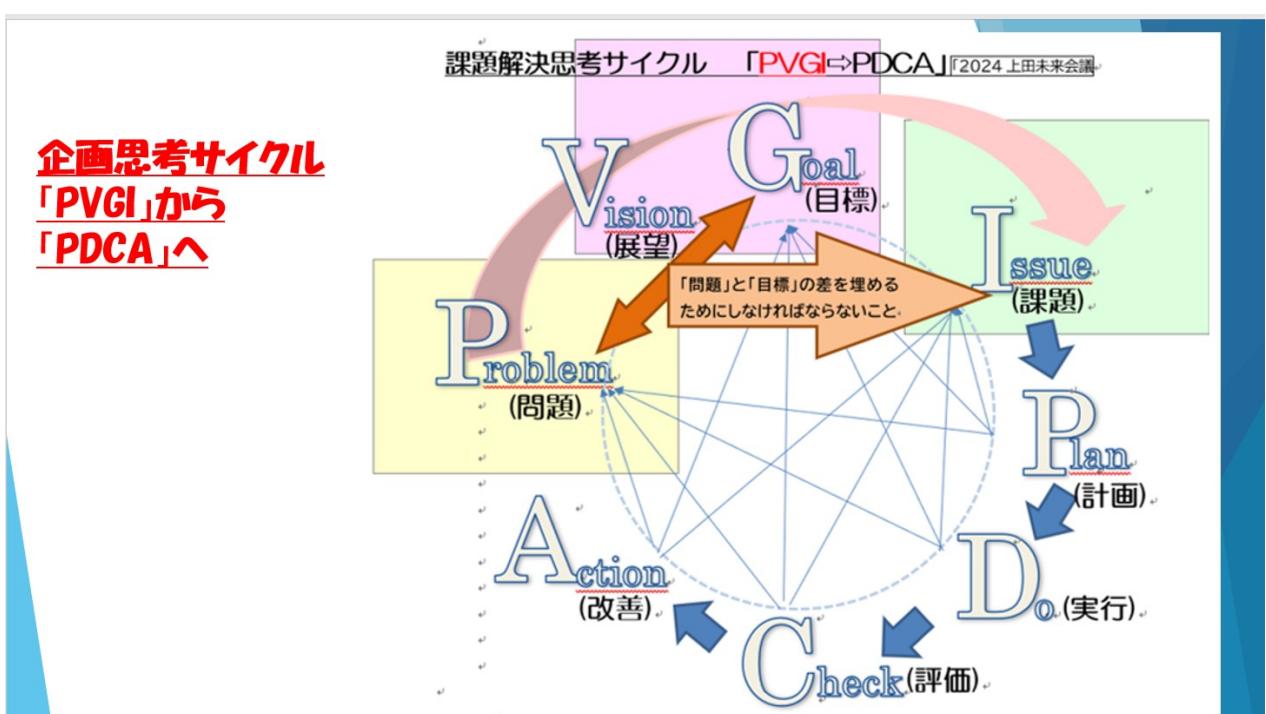
【2024 信州上田学概念図】

(1)「信州上田学」は「地学地習(じがくじゅう)」

信州上田学：地域の課題を地域の人から学び、地域でいかす方法を考え、地域で実践学習する



(2)企画思考プロセス



【2024 上田未来会議・募集チラシ】

ウエダ
ミライ
カイギ



上田未来会議 2024

「信州上田学」の一環として、学生（高校生・大学生）と市民がともに「学び」、話し合いを通じ課題解決能力・疑問提起能力・思考力など「探究する力」を培う場とします。

2024上田未来会議スケジュール・会場

第1回

日時：6月29日（土）13:30～16:00

場所：サントミューゼ（大スタジオ）

内容：基調講演（問題提起）など

演題：「地域の課題を自分ごとで考え、行動するヒント」

講師：studio-L代表・関西学院大学建築学部教授山崎亮氏

第2回 7/13(土)13:30～会場：サントミューゼ

第3回 8/17(土)13:30～会場：サントミューゼ

第4回 9/14(土)13:30～会場：駅前ビルパレオ

第5回 10/12(土)13:30～会場：駅前ビルパレオ

第6回 11/9(土)13:30～会場：駅前ビルパレオ

第7回 12/14(土)13:30～会場：サントミューゼ



山崎亮(やまさきりょう)氏

関西学院大学建築学部教授 造園家、博士 ランドスケープデザイナー。

コミュニティデザイナー。株式会社 studio-L代表。元東北芸術工科大学教授、同大学デザイン工学部
コミュニケーションデザイン学科初代学科長。

参加費用 無料（ボランティア活動保険の加入料は市が負担）

募 集 市内に居住・通勤・通学されている方で第1回、第7回を含む4回以上出席できる方、60名程度

詳 紹 「楽しくワクワク、お互いに認め合う場づくり」

地域課題解決に向け、誰かに何かを要望することを考えるのではなく、自分ごとで考える大切さやヒントを学ぶ
自分たちでできる解決策を中心に話し合っていただきます

まとめでは自分たちでできることと、地域や行政などにお願いすることも整理し発表します

詳しくは裏面をご覧ください

申 込 「申込フォーム」またはメール・電話でお申し込みください

期 日 5月17日(金)から6月24日(月)まで（定員になり次第締切とさせていただきます）

お問合せ 政策企画部学園都市推進室 Tel : 0268-75-2502 mail : gakuen@city.ueda.nagano.jp

お申し込みはコチラ



うえだ市町一番街商店会キャラ「真田幸丸」

主催：上田市 共催：長野大学

後援：上田女子短期大学、信州大学総合学部、筑波大学山岳科学センター、長野県工科短期大学校



上田未来会議 2024 スケジュール

地域に学ぶ
地元の人から学ぶ + 地域で実践体験し
自ら習熟する = 「信州上田学」は「地
学地習」

上田市では持続可能な地域の創出に向け、地域に脈々と受け継がれてきた歴史、文化、自然、風土等を「学ぶ」ことで住民が「住み続けたいと感じられる地域づくり」に繋げることはもとより、地域を離れて就職した学生が「上田に帰って来たいと感じる人づくり」さらには「上田を離れても地域を思い続けてもらう人づくり」を目的とした「信州上田学事業」を展開しています。

その一環で、「上田未来会議」を開催します。



日程	内容	
第1回 日時: 6/29(土)13:30~ 会場: サントミューゼ	【全体会】基調講演 演題:「地域の課題を自分ごとで考え、行動するヒント」 講師: studio-L代表・関西学院大学建築学部教授 山崎 亮氏	
第2回 日時: 7/13(土)13:30~ 会場: サントミューゼ	【全体会】「地域の課題を自分ごとで考えてみよう」 ・「未来会議の進め方」 ・「話し合いルール」 ・「上田市の現状と課題」ほか	
	グループワークA ①イチから地域課題に取り組んで みたい人たちがグループを作り ます ★問題発見⇒課題設定	グループワークB ②若者の居場所の必要性 ③大学生が地域で活躍すること という課題について話し合います ★課題の共有
第3回 日時: 8/17(土)13:30~ 会場: サントミューゼ	★課題設定(整理)	★課題の深掘り
第4回 日時: 9/14(土)13:30~ 会場: 駅前ビルパレオ	★課題の深掘り	★課題解決策
第5回 日時: 10/12(土)13:30~ 会場: 駅前ビルパレオ	★課題の深掘り	★課題解決策
第6回 日時: 11/9(土)13:30~ 会場: 駅前ビルパレオ	「自分たちでできること」を中心に解決策を話し合います ※11/23(土)予備日: 駅前ビルパレオ	
第7回 日時: 12/14(土)13:30~ 会場: サントミューゼ	【全体会】グループ発表 修了証授与 振り返り	

※3回目以降は、グループアドバイザーが全体をサポートします

※適宜、フィールドワークや地域の方からお話しをお聴きします

※第3回を～第6回は、グループごとに活動しますので、日程や会場が変更になる可能性があります。

グループアドバイザー(伴走者)

中澤純一さん : NPO法人 やじろべー理事長、老舗もくれん(高齢者施設)運営。
高齢者問題を中心に福祉全般の視点から幅広く地域課題に取り組んでいる。



「2023上田未来会議
グループ発表の様子」



間島賢一さん : 株式会社間島宣伝事務所代表取締役。印刷物やホームページをローカルに沿ったマーケティングでデザインする制作会社を運営。
地域のコミュニティにアイデアのヒントがあると考え、「感じて働く。」をテーマに地域の小さな経済をサポートしている。



ゲストスピーカー

直井恵さん : 上田映劇が奥点の「うえだ子供シネマクラブ」で子供たちの居場所づくりに取り組んでいる。



上田市は国の「SDGs未来都市」に認定されています。

